

# 令和5年度事業計画

〔 自：令和 4年4月 1日  
至：令和 5年3月31日 〕

## I 事業環境及び重点課題

我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いています。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引き締め等による世界的な景気後退懸念など、経済を取り巻く環境には厳しさが増し、当社の事業情勢への影響を予測することが難しい状況が続いています。

このような中でも、アイテムえひめの展示場等については、アフターコロナを見据えつつ、リピーターの需要回復利用を積み重ねていくとともに、主催者のニーズに応じた積極的な営業展開など新規顧客の獲得に取り組みます。さらに、自主企画事業の開催やビジネスオフィスの入居率の維持、広告事業の増収に向けた営業活動に積極的に取り組みます。

また、デジタルサイネージを活用した広告展開やドローンを活用したサービス提供など新たな事業ができるよう取り組んでまいります。

アイロットの賃貸事業については、当社の最大の収益源であり、高い入居率を維持することが経営の健全性に繋がります。退去される企業があっても速やかに入居いただける企業を獲得できるように日頃から情報収集に取り組むと共に効果的な営業活動により、入居率の維持に努めて参ります。

また、構内トイレの改修や照明のLED化を進め、入居者の満足度向上につながる職場環境の整備に努めます。

商事部門においては、既存取引先の収益拡大、新たな柱となる現地商社の発掘など、輸出商品売上の増加とともに、原価低減を図り「売上総利益」の黒字化を目指し取り組みます。

第31期(令和5年4月1日～令和6年3月31日)は、創業30周年を迎えます。この節目に、もう一つ生まれ変わり、ステークホルダー(株主、顧客、従業員、地域・社会)の満足度向上の元年と位置付け、「安定収益の確保」と「経営効率化による収益率の向上」に最重点を置き取り組みます。

さらに、当社は第三セクターの会社として、事業活動を通じて社会的責任を果たしていくことで、地域社会からの信頼を高めると共に、企業価値の向上と持続的な成長の実現を目指し「ESG(環境・社会・ガバナンス)経営の推進」に継続して取り組みます。

## Ⅱ 事業計画

### ○ 経営基本方針

- 1 安定収益の確保と経営効率化による収益率の向上
- 2 ESG経営の推進

### ○ 具体的施策

- 1 安定収益の確保と経営効率化による収益率の向上

#### (1) 安定収益の確保

##### ① アイテム事業部門

- ・ 「アイテムえひめ」指定管理の継続受託
- ・ アフターコロナを見据え、会場の特性を活かした営業による新規顧客獲得
- ・ 既存顧客の安定利用に向けた営業強化
- ・ 収益につながる大型自主企画イベントの実施
- ・ デジタルサイネージ等を活用した新たな事業展開

##### ② アイロット事業部門

###### [ 施設部門 ]

- ・ 入居率向上に向けた営業活動の強化
- ・ 職場環境整備による顧客サービス向上

###### [ 商事部門 ]

- ・ 安定受注、売上拡大に向けた既存顧客への営業推進及び利益率改善
- ・ 新規取引先の獲得による収益拡大

##### ③ エンジニアリング部門

- ・ アイロット施設の長期修繕計画のための建物診断実施
- ・ 施設の適切な予防保全による安定収益の確保

## (2) 経営効率化

- ① 設備投資・業務運営費用の効率化の徹底
- ② 業務効率化、部門内相互支援強化、多能工(マルチプレーヤー)化推進による労働生産性の向上
- ③ 各部門でのプロ化推進

## 2 ESG経営の推進

- ① GX (グリーントランスフォーメーション)の推進
  - ・ 太陽光発電によるクリーンエネルギーの創出と CO2 削減
  - ・ 照明 LED 化による消費電力量削減と CO2 削減
- ② 地域・社会との共生推進
  - ・ 地域住民の交流の場の創出
- ③ コンプライアンスの徹底とリスクマネジメントの強化
  - ・ 感染症のリスクマネジメント徹底
  - ・ 情報セキュリティ対策の徹底
  - ・ 職場環境の整備

なお、基本方針と併せ、令和5年度の「スローガン」を次のとおり定め、役職員一丸となって事業に取り組みます。

## 創立30周年 輝く未来への挑戦

### Ⅲ 収支計画

〔 自 令和5年 4月 1日  
至 令和6年 3月31日 〕

(単位:千円)

科目	金額(令和4年度計画)
<b>【売上高】</b>	
アイテム部門	329,757
アイロット部門	533,038
----- 合 計	862,795
<b>【売上原価】</b>	
アイテム部門	321,936
アイロット部門	435,221
----- 合 計	757,157
<b>【売上総利益】</b>	105,637
<b>【販売費及び一般管理費】</b>	47,891
<b>【営業利益】</b>	57,656
<b>【営業外損益】</b>	△ 1,129
<b>【経常利益】</b>	56,526
<b>【法人税等】</b>	18,287
<b>【当期純利益】</b>	38,239